

一般演題①「医療と交通事故」 6月22日(日) 10:00~11:00 60分

演題番号	演題名	筆頭演者	所属
G1-1	大野瀬トンネル事故多発、その後	鈴木 崇儀	医療法人緑丘歯科医院
G1-2	交通事故における遅延性死亡例の検討	大澤 資樹	東海大学医学部基盤診療学系法医学領域
G1-3	交通事故で受傷した重症頭部外傷患者における来院時の生理学的パラメータとその後の転帰についての検討 ~頭部外傷データベース【プロジェクト2009】より~	田中 俊生	昭和大学医学部救急医学講座
G1-4	自動二輪車事故における乗車用ヘルメットの保護効果についての検証	関根 康雅	埼玉医科大学国際医療センター救命救急科
G1-5	北海道における道南圏の救急医療体制の今後の課題	浅井 康文	雄心会函館新都市病院
G1-6	着座姿勢における脊柱アライメントの計測-縦型オープンMRIによる検討-	佐藤 房子	日本自動車研究所安全研究部

一般演題②「交通安全1」 6月22日(日) 11:00~12:00 60分

演題番号	演題名	筆頭演者	所属
G2-1	高速域での衝突における乗用車前面のエネルギー吸収特性	福山 慶介	日本自動車研究所安全研究部
G2-2	乗用車のバンパーラインフォースメント端部がバイク乗員に及ぼす加害性	本宮 嘉弘	新潟県警察本部科学捜査研究所
G2-3	3Dアニメーションを用いた接近車両速度弁別能力の評価	寺田 裕樹	秋田県立大学システム科学技術部
G2-4	Factors of influence in Lower Extremity Injuries - Pedestrian crashes -	Chinmoy PAL	日産自動車株式会社企画・先行技術開発本部車両性能開発部
G2-5	救急車に対する視認性を高めるための再帰反射材の使用 -救急救命士の殉職から考察する-	吉澤 彰洋	北アルプス広域消防本部
G2-6	VSAT遠隔画像診断支援装置におけるサムネイル画像の小型化の検討	菅 貴之	芝浦工業大学大学院電気電子情報工学専攻

一般演題③「交通安全2」 6月22日(日) 13:00~14:10 70分

演題番号	演題名	筆頭演者	所属
G3-1	非放置路上駐車行動に関する調査研究	堂柿 栄輔	北海学園大学工学部社会環境工学科
G3-2	チャイルドシート適正使用のための産前保護者の意識調査	川戸 仁	総合病院国保旭中央病院新生児科
G3-3	自転車の違反に対する知識やイメージとその変化	中村 愛	早稲田大学人間科学学術院
G3-4	交通事故防止のための自転車運転シミュレータの開発	パウルディンビン オマル	秋田大学大学院工学資源学部研究科
G3-5	自転車を追い越す自動車の速度と側方距離	村上 匡則	早稲田大学大学院人間科学研究科
G3-6	道路環境の明るさによるドライバの注視行動の違い	島崎 敢	早稲田大学人間科学学術院
G3-7	操作姿勢が二つのペダルの踏み間違いに及ぼす影響	比企 直樹	成蹊大学

パネルディスカッション「交通安全の新しい取り組み」 6月22日(日) 15:10~17:10 120分

演題番号	演題名	筆頭演者	所属
PD-1	ミニカーのフルラップ前面衝突時における乗員障害低減に関する研究	糸賀 佳祐	東京都市大学大学院
PD-2	軽自動車における側面衝突事故再現解析(第2報)	依田 毅門	東京都市大学大学院
PD-3	年代別平均頭蓋内形状を反映させた人体頭部有限要素モデルを用いた脳内応答の加齢変化に関する研究	柳岡 寿幸	株式会社本田技術研究所四輪R&Dセンター
PD-4	幼児専用車の車両安全性向上の取り組み	高宮 智昭	日本自動車工業会 保護装置分科会
PD-5	ACN(AACN)の現状と日本でのACN(AACN)による効果予測	佐藤 泉	日本自動車工業会
PD-6	日本外傷データベースを活用した事故自動通報システムの効果予測	高山 晋一	日本自動車研究所安全研究部
PD-7	居眠り運転予知予見(副次行動と頭部動揺度計測)	三林 洋介	東京都立産業技術高等専門学校